



令和元年度第6号



2019年11月6日

令和元年度第4回理事会報告

第4回理事会が2019年10月16日の夜、San Mateo Japanese American Community Centerをお借りして行われました。第3回理事会議事録の承認に続き、土屋校長より学事報告、保護者会から9月～10月の活動報告が行われたほか、令和2（2020）年度の理事選挙委員の選出とスケジュールなどを含む議題を話し合いました。

理事選挙のお知らせ

選挙委員の選出について

令和2（2020）年度理事の選出に関して、サンフランシスコ日本語補習校定款第7条5項(選挙委員会)に定める通り、以下の選挙委員を選任・任命しました。

- 小谷野 靖之 顧問（在サンフランシスコ日本国総領事館）
- 要藤 靖彦 顧問（JCCNC 北加州日本商工会議所教育委員長）
- 林 竜也 理事長
- 谷 朋紀 監査役

令和2（2020）年度理事選挙

令和2（2020）年度理事を選出する選挙を実施します。

選挙委員（前記の4名）から下記のとおり告示が出ましたのでご報告します。なお、立候補の資格や手続きにつきましては、補習校ホームページ <http://sfjs.org/> の「サンフランシスコ日本語補習校定款」をご参照ください。

- 令和元（2019）年11月1日 理事選挙選挙告示第1号
選挙委員会 委員長 小谷野 靖之
サンフランシスコ日本語補習校定款第7条5項に基づき、選挙委員4名の互選により、小谷野靖之氏が委員長として任命されました。
- 令和元（2019）年11月1日 理事選挙選挙告示第2号
選挙委員会 委員長 小谷野 靖之
サンフランシスコ日本語補習校定款第5条4項(選挙対象理事の選出)に基づき、下記の通りサンフランシスコ日本語補習校の理事選挙の実施を告示します。

記

1. 選挙の方法：所定の投票用紙で郵送による投票、または直接事務局へ提出することにより行います。投票は保護者会員について1家庭につき1票、法人会員1社につき1票に限りです。
2. 投票期間：2020年1月25日（土）～2月7日（金）午後3時まで
3. 開票日：2020年2月7日（金）
4. 選挙により選出される理事の定数：9名
5. 候補者の届出：被選挙権を有し、理事に立候補しようとする者は、定款第5条4項に基づき、所定の用紙に記入のうえ、2019年11月30日（土）から2019年12月13日（金）午後3時までの期間に、当委員会に届け出ることができます（事務局必着）。
6. 無投票当選：候補者数が選挙対象理事枠の定員数以下の場合、資格を満たすこれらの候補者は無投票当選となります。

50周年記念式典祝辞のご紹介

補習校50周年記念式典の際に頂いた祝辞をご紹介します。

第15代校長 岩崎 陽一殿

「世界一の補習校」サンフランシスコ日本語補習校が創立50周年を迎えられましたことに心よりお祝い申し上げます。

50周年を迎えるには、創設当初より今日まで保護者の皆様や関係諸機関のご支援はもとより、歴代の理事の皆様、派遣教員の先生方のお力であることは勿論ですが、補習校を愛し、より良いものにしようと日頃から労苦を惜しまず実務運営に当たられました青柳事務総長をはじめとするオフィスの皆様、そして子ども達のためにと研修を深め、毎週の学習指導に全力でお取り組みいただきました主幹の先生をはじめとする当地の先生方のご尽力の賜物であることに心から敬意を表します。

私もこの世界一のサンフランシスコ日本語補習校に、短期間ではございましたが一緒に仕事をさせていただく機会を頂戴しましたことをとても光栄に感じています。補習校での経験は学校を退職した今でも私の生涯の宝となっています。

当時お世話になりました将来像検討委員会や理事会をはじめとするすべての皆様方に、この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

世界一のサンフランシスコ日本語補習校の更なる発展と、OB諸氏が世界の平和と人類の幸福をつなぐ強い架け橋になられて活躍されること、関係者の皆さま方の益々のご健勝心よりご祈念申し上げ、50周年記念のお祝いの言葉とさせていただきます。

第16代校長 植木 進策殿

今回のサンフランシスコ日本語補習校創立50周年まことにおめでとうございます。

私が本校に勤めさせていただいた3年間の最後の年に創立40周年記念式典並びに記念行事が開かれました。その時には保護者の皆様や理事会の方々が一一致団結し、本校のこれまでの歴史やこれからの進む方向を夜遅くまで厚く語り合い、本校の進むべき道を作り上げていかれました。また、サンノゼ球場での全校の子どもたちと保護者も含めたセレモニー、レクレーション、上空から撮影した人文字などは今でも私の脳裏に焼き付いています。あれから10年、色々な困難に直面しながらも熱意をもって教育にあたる教職員、保護者が作り上げた理事会を中心とした強固な体制は今でも変わらないと思います。これからも本校が、世界に飛び立っていく子供たちの日本の教育の学び舎として発展していくことを祈念いたします。

これからも本校が、世界に飛び立っていく子供たちの日本の教育の学び舎として発展していくことを祈念いたします。

第18代校長 市川 貞男殿

創立五十周年おめでとうございます。私は、創立四十五周年の年をまたぐ、2013年度から2015年度の三年間在職しました。当時は、補習校としては、ロサンゼルス補習校を超えて、世界で一番大きな規模となった頃で、学級定員を拡大しても児童生徒の受け入れができず、ウェイティングを取り入れざるを得ない状況でした。教室や先生の確保が学校運営の大きな課題となっていたことを覚えています。

創立から五十年、時代はさまざまに変化しても、サンフランシスコ日本語補習校に学ぶ皆さんが大切にしている思いは、いつも変わりません。忘れてはならない大切な思いは、数多くの先輩が歌い継いできました「いつか世界の架け橋に」という校歌に込められています。

世界に目を向けると、貧困や格差という問題などとともに、今、世界ではナショナリズム、ポピュリズムといった考え方から、新たな摩擦や対立、分断が顕著に現れてきていて、心を痛める人も多くなっています。いつの世も、これからの時代にとっても変わらず大切なことは、様々な仲間と一緒に、明るい未来を作り出す、未来の懸け橋、世界の懸け橋を目指すという思いです。五十周年という節目に補習校で学ぶ皆さんにも、楽しい補習校の思い出とともに、校歌に込められた思いを忘れずに、これからも歌い継いで欲しいと、願っています。

第19代校長 上里 多一殿

サンフランシスコ日本語補習校創立50周年、おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。

ご承知のように1968（昭和43）年に児童・生徒数101人、講師5人で発足したサンフランシスコ日本語補習校は今や、補習校では世界最大規模にまで発展してきました。その間、多くの困難を乗り越え名実ともに北米の日本語補習校を代表する学校の一つとなりました。

このことを可能にしたのは、北加商工会議所、サンフランシスコ総領事館、理事会及び保護者会の方々のご協力とご支援の賜物だと考えます。改めまして感謝申し上げます。

今、日本では経済社会のグローバル化に伴い在外教育施設での人材育成が期待されています。特に補習校の子供たちは現地校に通っており、日常的に異文化を行き来しながら多くのことを学び体験しています。その意味において補習校はグローバル人材育成の最前線にあります。

これまで歩まれてきたサンフランシスコ日本語補習校の50年の歴史を礎に、一人でも多くの児童生徒が「世界の架け橋」となるよう期待するとともに、サンフランシスコ日本語補習校の一層の発展を祈願しお祝いのメッセージといたします。

前教頭 西田 菊佳殿

サンフランシスコ日本語補習校創立50周年おめでとうございます。

補習校を支えてくださった皆様、現地校と両立して登校した皆様、毎週、土曜日に授業を実施することに、ご苦労がたくさんあったことでしょう。でも、その日々には、楽しかったことが、ぎっしり詰まっていたに違いありません。その一日一日が積み重なって、五十年という節目を迎えることができました。

さらに、次の節目に向かって、一日一日を積み重ねてください。創立五十周年 心よりお祝い申し上げます。

寄附のお知らせ

創立 50 周年を記念して、城田たえ子主幹より、\$3,000 のご寄附をいただきました。心より感謝申し上げます。

事務局よりお知らせ

令和2年度幼稚部・小学部1年生の入学受付について

令和2(2020)年4月から幼稚部および小学部1年生に入学を希望する幼児・児童についての入学願書受付を11月1日から開始いたしました。申し込み締め切り日は、12月7日です。入学を申し込まれる方は、本校ウェブサイトをご覧ください。

出願資格

保護者が当地での職務に派遣される者、または、理事会が承認する者で、将来日本の学校に入学・編入しようとする計画を持っている者のうち、

幼稚部：平成26年(2014年)4月2日から平成27年(2015年)4月1日までに出生した幼児に限ります。

小学部1年生：平成25年(2013年)4月2日から平成26年(2014年)4月1日までに出生した児童に限ります。

学校説明会

入学希望幼児・児童及び保護者を対象として、学校説明会を次の通り実施いたします。

サンフランシスコ校	サンノゼ校
令和元年11月23日(土)	令和元年11月23日(土)
午前9時30分～午前11時20分	午前9時30分～午前11時20分
幼小部サンフランシスコ校カフェテリアにて	幼小部サンノゼ校マルチパーパスルームにて

入学申し込み方法

入学申込書、入学前健康調査票、生年月日が証明できる書類(パスポートのコピー等)、誓約書、申込金50ドルのチェックを本校事務局までご送付ください。必要フォームは本校ホームページ<http://sfjs.org/>からダウンロードしてください。申し込み締め切り日は、12月7日(消印有効)です。

入学選考

書類審査及び面接を行い合否を決定します。

令和2年度中学部1年生の入学受付について

本校では、平成31(2019)年4月の入学生徒から入学試験を行なっています。入学願書受付期間は令和元年12月8日(日)から令和2年1月12日(日)となりますので、入学を申し込まれる方は、12月7日以降に本校ウェブサイトをご覧になり出願をするようお願いいたします。

出願資格

- 本補習校か日本の小学校もしくは、本補習校と同等の小学校を卒業した者(学齢差2歳未満のこと)。
- 平成30年度末に、日本の小学校か本補習校もしくは、本補習校と同等の小学校を卒業する見込みの者。

- 小学校卒業程度の学力を有する者（学齢差2歳未満のこと）。

学校説明会

入学希望者の保護者を対象として、サンノゼ校は12月7日(土)、サンフランシスコ校は12月14日(土)に入学説明会を予定しています。詳しい時間等については後日お知らせします。

11月～12月の行事予定

日付	サンフランシスコ校	サンノゼ校
11/2(土)	個別懇談（幼小部）	個別懇談（幼小部） 小学部 13:40 下校 後期中間テスト（中高部）
11/9(土)	個別懇談（幼小部）	フードバザー、イヤーズブック撮影（中高部）
11/16(土)	古本市（幼小部） 後期中間テスト（中高部）	個別懇談（幼小部） スポーツ大会（中高部）
11/23(土)	幼小部学校説明会 引取り訓練	幼小部学校説明会 引取り訓練
11/30(土)	休校日	休校日
12/7(土)	高等部入学願書受付開始（中高部）	中学入学説明会（小学部） 高等部入学願書受付開始（中高部）
12/14(土)	中学入学説明会（小学部）	
12/21(土)		幼稚部発表会・小学部特別授業（幼小部）
12/28(土)	休校日	休校日

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により月1回発行されます。発行人：林竜也

San Francisco Japanese School 22 Battery Street, #612, San Francisco, CA 94111

電話：415-989-4535 FAX：415-989-2542 電子メール：理事会・事務局 office@sfjs.org 学校 sfjs@sfjs.org

ホームページ：<http://sfjs.org/>

理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。匿名でのお問い合わせ等にはお答えしておりません。

無断複製・転載を禁ずる。©San Francisco Japanese School 2019 All Rights Reserved.